

そよ風

第11号

今治市立立花中学校



「男らしさ」「女らしさ」って何だろう？



みなさんは、ジェンダーという言葉を知っていますか？この言葉は、一般的に、「社会的・文化的性差」と訳されます。簡単に言えば、「男女の違い」のことです。多くの生き物と同じように、人間も男と女の二つの性別に分かれています。「男女の違い」は、体の構造や機能（子供を産める／産めない、など）の違いとして現れています。このような生物学的な違いとは別に、それぞれの社会や文化の中で受け継がれてきた「男女の違い」が多くあります。例えば、服装の違いなどです。それぞれの社会や文化には、「こうあるべき」という男女のモデルみたいなものが存在しています。みなさんも、「男らしくしなさい」や「女らしくない」などと、言われたことはありませんか？

近年、ジェンダーについて、このままでいいのかという議論が世界的に行われています。しかし、ジェンダーには、「良い」「悪い」という価値判断は含まれません（男女平等は大原則です）。男女の違いがいろいろな形で存在するのは、ある意味当然のことですし、社会の成り立ちの基本だと言えます。ただ、時代と共に、ジェンダーの在り方が現状に合わなくなってきました。例えば、「男は外で働いてお金を稼ぎ、女は家で家事と育児をこなす」といった古い考え方です。今は、多くの女性が社会で働いてお金を稼いでいますし、結婚して働きながら育児をする女性も多いですね。

生き方に対する考え方にも、もちろん「正しい」「間違い」はありません。大切なのは、みんなに共通の「普通の生き方」など存在しなくなっているということです。これを生き方の「多様化」といいます。しかも、グローバル化が進み、日本には、世界中の多様な文化・価値観が入ってきています。そういった時代に、たった一種類の考え方を押し付け合うのはどうだろうという意見が出てくるのも当然ですね。そのような視点で、「男らしさ」「女らしさ」とは何か、また、いろいろな場面に合ったジェンダーについて、みなさんも考えてみてください。

考えるヒントとして

「…あるいは、確かに君の肉体は、男か女かどちらかだ。だけど、その肉体であるところの君自身というのは、本当は、誰なんだろう。君とは、君の肉体なんだろうか。…君は、こういう、男も女も関係がない、本質的な事柄だけを追求してゆきたいとは思わないか。」

『14歳の君へ—どう考えどう生きるか』(池田晶子)より

↑著者が、テーマ別(友愛・個性・性別・人生…)に語りかけてくる哲学入門書。(図書室)